

組織的な若手研究者等海外派遣プログラムにおける
若手研究者海外派遣 平成23年度第1回公募要項

平成23年2月8日

本事業は、日本学術振興会の組織的な若手研究者等海外派遣プログラム (<http://www.jsps.go.jp/j-daikokai/index.html>) に採択された「乾燥地科学拠点における国際人材養成」により実施するもので、乾燥地研究分野における若手研究者を乾燥地研究センターと連携している海外拠点（国際乾燥地農業研究センター（シリア）、砂漠研究所（米国）、中国科学院寒区旱区環境工学研究所、モンゴル気象水文研究所）等に派遣し、共同研究の実施や国際的に活躍する人材の養成を図るものです。

1. 応募対象者

平成23年4月1日現在、鳥取大学農学部及び乾燥地研究センターに所属する42歳以下の講師、助教、ポスドク（グローバルCOEプログラムの経費で雇用されているポスドクは除きます。）及び大学院生（農学研究科）を対象とします。

なお、日本学術振興会特別研究員（ただし、海外特別研究員、外国人特別研究員は除きます。）は含みます。

（注）大学院生は短期派遣のみ応募できます。

2. 派遣期間及び募集人員

（1）短期派遣（2週間程度、若干名）

- A. 国際乾燥地農業研究センター（ICARDA：シリア・アレppo）
- B. 砂漠研究所（DRI：米国・リノ又はラスベガス）
- C. 中国科学院寒区旱区環境工学研究所（CAREERI：中国・蘭州）
- D. モンゴル気象水文研究所（IMH：モンゴル・ウランバートル）

（2）中期派遣（約2～3カ月程度、若干名）

- A. 国際乾燥地農業研究センター（ICARDA：シリア・アレppo）
- B. 中国科学院寒区旱区環境工学研究所（CAREERI：中国・蘭州）
- C. モンゴル気象水文研究所（IMH：モンゴル・ウランバートル）

※平成23年4月1日から平成23年6月30日までに出発する派遣が対象です。

3. 支援経費の範囲

- ・鳥取大学から渡航先機関までの渡航費（往復）
（空港使用料、出入国税、旅券の交付手数料、査証手数料、予防注射料を含む）
- ・現地における滞在費（日当、宿泊費）

※4月中旬までに出発する派遣については、学内の旅費システムの準備上、旅費が精算払いとなりますのでご了承ください。

4. 募集期間、申請方法等

派遣を希望する者は、以下の書類を準備のうえ、講師、助教、ポスドクの場合は所属部局の長、特別研究員の場合は受入教員、学生の場合は指導教員の許可をそれぞれ得たのち、下記の提出先に提出願います。

- 募集期間：平成23年2月9日（水）から平成23年2月18日（金）

- 提出書類： ①申請書（短期派遣：別添様式1）
（中期派遣：別添様式2）

②海外での研究計画書（中期派遣の場合、A4 1枚、指定様式なし）

③語学力を証明する書類（TOEIC、TOEFLのスコア、英検等の証明書。写しも可）

※ 語学力を証明する書類がない場合は、海外での共同研究実績及び国際学会での発表（口頭）実績を申請書類に記載することで代えることができます。

5. 選考方法

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム推進会議に設置する選考委員会において、書類審査を行い、2月下旬頃に派遣者等を決定します。

6. 採択者の義務

採択となった者は、本プログラムによる派遣期間終了後に、事業概要報告書を提出する義務を負います。

（報告書の様式は、後日、採択者に通知します。）

7. 派遣先機関における研究内容（想定しているもの）

- 国際乾燥地農業研究センター（ICARDA）

ICARDAの実験施設を用いて、分子育種及び水・土壌保全、環境修復の研究を中心に、海外の研究者と共同研究やICARDAで開かれるショートコース（研修）に参加する。

- 砂漠研究所（DRI）

乾燥地植物と土壌微生物の共生メカニズムや乾燥地植物の生理生態特性解明についての研究、乾燥地生態系修復技術習得の他、黄砂（風成ダスト）の研究を中心に学ぶ。

- 中国科学院寒区旱区環境工学研究所（CAREERI）

現地の研究者とともに砂漠化土地の修復研究を中心に調査・観測を実施し、共同研究を行う。

- モンゴル気象水文研究所（IMH）

黄砂（風成ダスト）の研究を中心に黄砂観測および現地調査に参加する。また、収集された気象・水文データの解析にあたる。

8. その他

申請内容について、採択後に研究遂行上の理由等により変更する必要がある場合、その理由を示して選考委員会に承認を得なければいけません。

■ 申請書提出先（問い合わせ先）

乾燥地研究センター 共同利用係 （椿、北島） TEL0857-23-3411

別添様式 1

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム
「乾燥地科学拠点における国際人材養成」による派遣申請書
(短期派遣用)

1. 申請者

氏 名	⑥	生年月日 (年齢)	
所 属		職 名 又は 学 年	
連絡先	(TEL)	(E-Mail)	

2. 派遣希望先等

①派遣期間 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日まで (日間) (日本出発日から日本到着日までを記載してください。)				
②派 遣 先				
③派遣先における受入研究者				
氏 名	[英字]	FAMILY NAME	First Name	Middle Name
職	[英語]			
連絡先				

3. 派遣先での研究内容等 (枠の大きさは、自由に変更して利用してください。)

研究テーマ	
研究概要	
研究活動計画 (具体的に記入)	

本派遣によって 期待される成果	
これまでの主な 研究内容の要約	
海外における 共同研究実績等	(語学力を証明する書類がない場合に、海外での共同研究実績の概要又は国際会議での口頭発表の概要を記載してください。)

所属長（特別研究員の場合は受入教員、 学生の場合は指導教員） 氏名・承認印	
---	---

※別途添付書類：語学力を証明する書類(TOEIC、TOEFL のスコア、英検等の証明書。写しも可)

別添様式 2

組織的な若手研究者等海外派遣プログラム
「乾燥地科学拠点における国際人材養成」による派遣申請書
(中期派遣用)

1. 申請者

ふりがな 氏 名	㊞	生年月日 (年齢)	
所 属		職 名 又は 学 年	
連 絡 先	〒 (TEL) (E-Mail)		

2. 派遣希望先等

①派遣期間 平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日まで (日間) (日本出発日から日本到着日までを記載してください。)				
②派 遣 先				
③派遣先における身分				
④派遣先における受入研究者				
氏 名	[英字]	FAMILY NAME	First Name	Middle Name
職	[英語]			
連絡先				

3. 派遣先での研究内容等 (枠の大きさは、自由に変更して利用してください。)

研究テーマ	
研究概要	

研究活動計画 (具体的に記入)	海外での研究計画書 (A4 1 枚、指定様式なし) として別に提出してください。
本派遣によって 期待される成果	
これまでの主な 研究内容の要約	
海外における 共同研究実績等	(語学力を証明する書類がない場合に、海外での共同研究実績の概要又は国際会議での口頭発表の概要を記載してください。)

4. これまでの研究業績

下記の項目について、申請者が中心的な役割を果たしたもののみに項目に区分して記載してください。(該当がない項目は「なし」と記載してください。また、申請者にアンダーラインを付してください。)(枠の大きさは、自由に変更して利用してください。)

(1) 著書、学術論文 (査読中・投稿中のものは除きます) (2) 総説、論評 (3) 国際会議における発表 (口頭発表・ポスター発表の別に記載してください) (4) 特許 (5) その他
--

所属長 (特別研究員の場合は受入教員) 氏名・承認印	
-------------------------------	---

※添付書類

- ・語学力を証明する書類 (TOEIC、TOEFL のスコア、英検等の証明書。写しも可)